



Portable DVD±RW

with LightScribe

Hi-Speed USB 2.0
FireWire 400

user manual

manuel utilisateur

manual de instrucciones

gebruikershandleiding

guía utente

handbuch

ユーザー マニュアル

用户手册

용자 설명서



DESIGN BY SAM HECHT

目次

健康、安全性、および一般的使用についての注意	4
安全衛生上の注意	4
一般的な使用上の注意	4
1. 概要	6
1.1 システム必須要件	7
1.2 パッケージの内容	8
1.3. ドライブの外観	9
1.4. ケーブルおよびコネクタ	11
1.5. サポートされた DVD および CD フォーマット	12
2. LaCie Portable DVD±RW Drive の接続	14
2.1. DVD/CD 焼き付けソフトウェアのインストール	15
2.2. USB 2.0 ケーブルの接続	16
2.3. FireWire 400 ケーブルの接続	17
2.4 電源の接続	18
3. LaCie Portable DVD±RW Drive を使用する	19
3.1. ディスクの挿入	19
3.2. ディスクへのアクセス	19
3.3. ディスクの取り出し	20
3.4. ディスクの緊急取り出し	20
4. 役立つ技術情報	21
4.1. ファイル システム フォーマット	21
4.2. DVD±RW 書き込み方式	22
4.3. 利用可能な DVD/CD の容量について	23
4.4. FireWire に関する Q & A	24
4.5. USB に関する Q & A	25
4.6. データ転送	26
5. トラブルシューティング	27
5.1. Mac のトラブルシューティング	28
5.2. Windows のトラブルシューティング	31
6. カスタマ サポートへのお問い合わせ	34
6.1 Lacie テクニカル サポートの連絡先	35
7. 保証について	36

著作権

Copyright © 2007 LaCie. All rights reserved. 電子、機械、コピー、記録など、様式や手段の如何を問わず、本書のいかなる部分も当社の書面による事前の承諾なしで複製、読み出しシステムでの保存、伝送を行うことを禁じます。

商標について

FireWire、Apple、Mac および Macintosh は、Apple Inc. の登録商標であり、Microsoft、Windows 98、Windows 98 SE、Windows 2000、Windows Millennium Edition、Windows XP および Windows Vista は、Microsoft Corporation の登録商標です。このマニュアルに記載されているその他の商標は、関連各社に帰属します。

変更について

本書の内容はあくまでも参考用で、予告なく変更することがあります。本書の作成にあたっては正確さを期していますが、本書に掲載された情報の誤謬または省略に起因する、あるいは本書に記載する情報を利用した結果により生じる損害に対して、当社は一切の責任を負いません。当社は、無条件で製品の設計または製品マニュアルの変更や改訂を予告なく実施する権利を有します。

カナダ適合規定

本クラス A デジタル機器は、カナダ干渉発生機器規定 (Canadian Interference-Causing Equipment Regulations) のすべての要件を満たしています。



Federal Communications Commission Radio Frequency Interference Statement (FCC)

警告：遵守を担当する団体による明確な承認を受けずに本機器に変更または修正を加えた場合、ユーザーは本機器を操作する権利を失うことがあります。

本機器は、FCC 規則 Part 15 に定められたクラス B デジタル装置に関する規制要件の試験に合格し、同規則に準拠することが証明されています。これらの規則要件は、本機器を商業環境で操作する際に有害な干渉から適切に保護するために設けられています。本機器は、無線周波数帯域のエネルギーを発生および使用するもので、これを放射する場合もあります。さらに、本取扱説明書の指示に従って設置および利用しない場合、無線通信に有害な干渉をもたらす場合があります。ただし、特定の設置方法において干渉が発生しないという保証はありません。本機器がラジオ、テレビの受信に有害な干渉をもたらす、その原因が本機器の電源のオン/オフによるものであると判断した場合、ユーザーは次に記す処置により、その干渉を是正することをお勧めします。

- ❖ 受信アンテナの向き、または位置を変える。
- ❖ 本機器と受信機の距離を離す。
- ❖ 受信機が接続されているものとは異なる別系統のコンセントに、本機器を接続する。

- ❖ 販売代理店または経験を積んだラジオ / テレビ技術者に相談する。

本装置が関連 FCC 規制に準拠するには、シールド ケーブルおよび I/O カードを使用する必要があります。

本機器は、FCC 規則のパート 15 に準拠しています。操作は次の 2 つの条件に基づきます。(1) 本機器は有害な電波障害の原因となってはならない。(2) 本機器は誤動作の原因となる妨害を含め、受信する妨害を許容しなければならない。

CE 認証に関するメーカーの宣言

当社は、本装置が欧州委員会発行の EMC 指令 (89/336/EEC) および低電圧指令 (73/23/EEC) の双方に準拠していることを言明します。

これらの指令への準拠は、以下の欧州規格を満たしていることを意味します：

クラス B EN60950、EN55022、EN50082-1、EN61000-3-2

下記条件に関して：

73/23/EEC 低電圧指令
89/336/EEC EMC 指令

第 1 種レーザー製品

本製品は、本製造日時点において DHHS 規則第 21 条 CFR 第 I 章、条項 J に準拠していることが証明されています。

本装置は、第 1 種レーザー製品に分類され、ドライブ外部に有害なレーザー光線を放射することはありません。



本製品または梱包箱に示されたこの記号は、本製品を他の家庭廃棄物と一緒に廃棄してはならないことを意味します。電気・電子製品廃棄物をリサイクルする所定回収場所に該当機器を持ち込んで処分する責任は、ユーザーにあります。他のゴミと分別して、機器廃棄物の回

収やリサイクルを行うと、自然資源の保護に役立ち、人々の健康や環境を保護する方法でリサイクルが行えます。機器廃棄物をリサイクルする際の回収場所についての詳細は、お住まいの地方自治体の家庭廃棄物担当部署または本製品を購入された販売店へお問い合わせください。

注意: 遵守責任を有する団体による明確な承認を受けずに本機器に変更または修正を加えた場合、ユーザーは本機器を操作する権利を失うことがあります。

健康、安全性、および一般的使用についての注意

お買い求めいただいた製品には、レーザー ダイオード デバイスが含まれており、「レーザー クラス I」製品に認定されています。通常の使用条件であれば、このレーザーは使用者にとって危険となることはありません。た

だし、レーザー放射の反射にさらされる危険性があるため、ディスク読み取りシステムに反射物を置かないようにしてください。本製品を安全に正しくお使いいただくため、必ず次の基本的注意を守ってください。以下のガ

イドラインに従っていただくことで、使用者および他者の怪我、デバイスや他のコンピュータ機器の損傷を回避するために役立ちます。注意点には以下が含まれますが、これだけに限定されるわけではありません。

安全衛生上の注意

- ❖ デバイスの設定にあたっては、本ユーザー マニュアルを十分に読み、正しい手順に従ってください。
- ❖ 開いた状態のメディア トレイを覗き込んだり、手を入れたりしないでください。デバイスが動作していないときでも、レーザー ダイオードを直接的または間接的（鏡など）に見ないでください。デバイス内のレーザーに目をさらすと、視力への悪影響、失明、その他の怪我を負う危険性があります。
- ❖ デバイスを開けたり、分解または改造しないでください。感電、火災、ショート、有害な放出などの危険を避けるために、ドライブに金属物を挿入しないでください。本製品には、お客様ご自身で修理可能な部品は一切含まれていません。故障が見られる場合は、資格を有する LaCie メンテナンス スタッフに点検をご依頼ください。
- ❖ 機器を雨にさらしたり、水の近く、または湿気の多い場所、濡れた状態で使用しないでください。中に液体の入ったものを置かないでください。こぼした場合に開口部分より水が入る恐れがあります。これにより、感電、ショート、火災、けがなどの危険性が高まります。
- ❖ コンピュータおよびデバイスの電気アースが取られていることを確認してください。デバイスのアースを取っていないと、感電の危険性が高くなります。

一般的な使用上の注意

- ❖ デバイスを動作させる場合は、5°C~40°C の範囲外の温度に晒さないようにしてください。この温度範囲外で使用すると、デバイスが損傷したり、ケースが変形することがあります。また、熱源の近くに置かないでください。直射日光（窓越しの直射日光も同様）に当てないでください。逆に、極端に低温の場所または湿気の多い場所に置くと、デバイスが損傷する恐れがあります。
- ❖ 装置背面にある通気口を塞がないでください。この通気口は、操作中にデバイスを冷却する働きがあります。通気口を塞ぐとデバイスを損傷する可能性があり、ショートや火災の原因となります。
- ❖ 落雷の恐れがある場合、または長時間使用しない場合は、必ずデバイスのプラグをコンセントから抜いてください。プラグを差し込んだままにすると、感電、ショート、火災の危険性が高まります。
- ❖ 本デバイスの上に重いものを載せたり、ボタン、コネクタ、トレイに過度の負荷をかけないでください。
- ❖ ご使用前に必ず本デバイスを水平に設置してください。この LaCie ドライブは縦置きで使用するには設計されていません。デバイスの破損やデータの損失が起きる可能性があります。
- ❖ デバイスを移動するときは、必ずディスク トレイからディスクを取り出してください。ディスクを入れた

- ままにすると、書き込まれているデータが損傷したり、デバイスの内部コンポーネントが損傷する可能性があります。
- ❖ ディスク ローディング システムに過度の力を加えないでください。ディスクは力を入れなくても簡単に挿入できます。問題に気づいた場合は、「トラブルシューティング」を参照し、アフターセールス部門にお問い合わせください。
 - ❖ 本デバイスの使用または保管にあたっては、埃の多い場所を避けてください。デバイス内に埃が蓄積すると、損傷または故障の原因となります。
 - ❖ 本デバイスのケースを清掃する場合は、ベンジン、塗料用シンナー、洗剤、またはその他の化学製品を使用しないでください。これらの化学製品により、フロント パネルやケースが変形したり褪色することがあります。清掃する場合は、柔らかい乾いた布でデバイスを拭いてください。

重要な情報: 本製品の使用中に生じたデータのいかなる損失、改悪、破壊は、お客様ご自身の責任であり、いかなる場合であっても当社はそのデータの回復または修復について責任を負いません。データの損失を避ける手段の1つとして、データのコピーを2部取ることをお勧めします。たとえば、1部を外部ハード ディスクに取り、もう1部を内部ハード ディスクや別の外部ハード ディスク、またはリムーバブル ストレージ メディアに取ります。LaCie では、CD、DVD ドライブの豊富な製品ラインを提供しています。バックアップに関する詳細は、当社 Web サイトをご覧ください。

重要な情報: 1GB は 10億 (1,000,000,000) バイトです。1TB は、1000 GB です。フォーマット後に実際に利用可能なストレージ容量は、動作環境によって異なります (通常 5 ~ 10% 減)。

注記: このユーザー マニュアルのいくつかのセクションは、3 種類の LaCie Portable DVD±RW ドライブに関する詳細を含みます。ドライブの違いは、必要に応じて記載されています。ご使用のドライブに関するセクションを参照するようにしてください。

1. 概要

LaCie Portable DVD±RW Drive をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品があれば、DVD、CD の作成が自由自在に行えます。この製品は、さまざまな DVD および CD フォーマットと最大限の互換性があるため、一般的な書き込み・読み取り規格 (DVD±RDL、DVD±RW、CD-R、および CD-RW) に対応しています。



片面二層 DVD 記録

二層 (DL) ディスクは、ハリウッド映画の DVD ビデオに使われている技術を採用しているため、ほとんどの家庭用 DVD プレイヤーやコンピュータの DVD-ROM ドライブに対応しています。

1 枚の DVD+RDL ディスクに、MPEG-2 なら 4 時間分、VHS 画質で 16 時間分を記録することができ、より高画質の映画を記録するためにビデオ ビットレートを増やすこともできます。さらに、1 枚の DL ディスクに 8.5GB のデータを保存できるため、アプリケーションのアーカイブやバックアップに理想的であり、場合によってはテープの代用とすることも可能です。

インパクトのあるプロ顔負けの DVD ビデオ作成ができるこのツールがあれば、システムのバックアップも簡単に行え、思い出の記録をとっておくことができます。



■ LaCie Portable DVD±RW Drive の機能

- ❖ 独自の音楽、ムービー、フォト CD/DVD を作成・記録
- ❖ LightScribe: プロ品質のカスタム ラベルをデザイン・書き込み
- ❖ 18 倍速の高速書き込み速度
- ❖ DL DVD±R、DVD±R/RW & CD-R/RW に書き込み可能

1.1 システム必須要件

Windows をご使用の方

■ FireWire

- ❖ FireWire 400 搭載のコンピュータ
- ❖ Windows 2000、Windows XP、Windows Vista
- ❖ Pentium IV プロセッサ以上
- ❖ 256MB 以上の RAM

■ USB

- ❖ USB 搭載のコンピュータ
- ❖ Windows 2000、Windows XP、Windows Vista
- ❖ Pentium IV プロセッサ以上
- ❖ 256MB 以上の RAM

- ❖ ダイレクト ディスク ラベル作成には LightScribe CD/DVD が必要です (別売)。

Mac をご使用の方

■ FireWire

- ❖ FireWire 400 搭載のコンピュータ
- ❖ Mac OS X 10.3.9
- ❖ Power PC G4 以上、Mac Intel プロセッサ
- ❖ 256MB 以上の RAM

■ USB

- ❖ USB 搭載のコンピュータ
- ❖ Mac OS X 10.3.9
- ❖ Power PC G4 以上、Mac Intel プロセッサ
- ❖ 256MB 以上の RAM

- ❖ ダイレクト ディスク ラベル作成には LightScribe CD/DVD が必要です (別売)。

Linux をご使用の方

■ FireWire

- ❖ FireWire 400 搭載のコンピュータ
- ❖ Linux ベースのシステム
- ❖ 256MB 以上の RAM

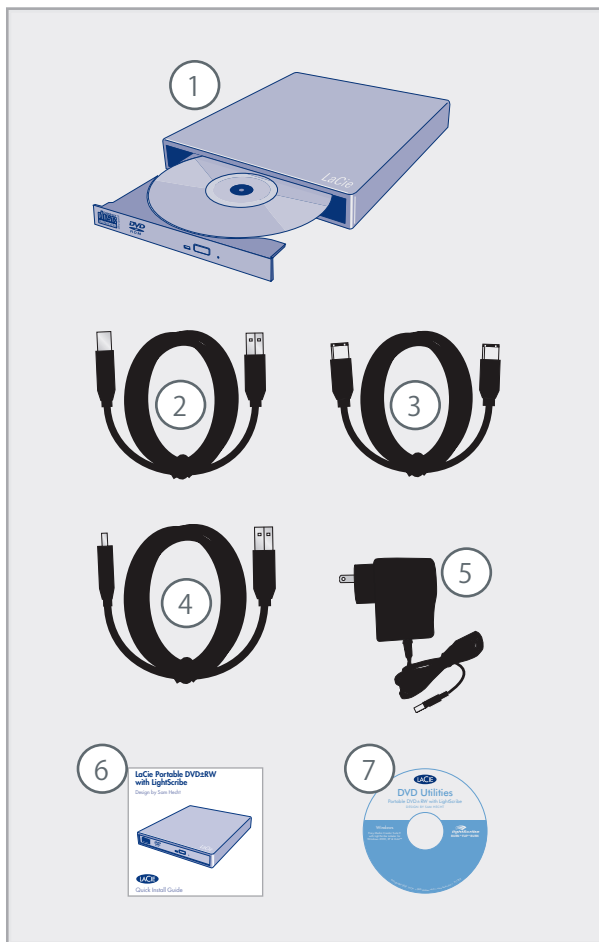
■ USB

- ❖ USB 搭載のコンピュータ
- ❖ Linux ベースのシステム
- ❖ 256MB 以上の RAM

- ❖ ダイレクト ディスク ラベル作成には LightScribe CD/DVD が必要です (別売)。

1.2 パッケージの内容

お買い上げの LaCie Portable DVD±RW Drive ボックスには以下が含まれます。



- ① LaCie Portable DVD±RW Drive
- ② USB 2.0 ケーブル*
- ③ FireWire 400 ケーブル**
- ④ USB 電力共有ケーブル*
- ⑤ 電源装置*
- ⑥ クイック インストール ガイド
- ⑦ LaCie DVD Utilities CD-ROM (s)

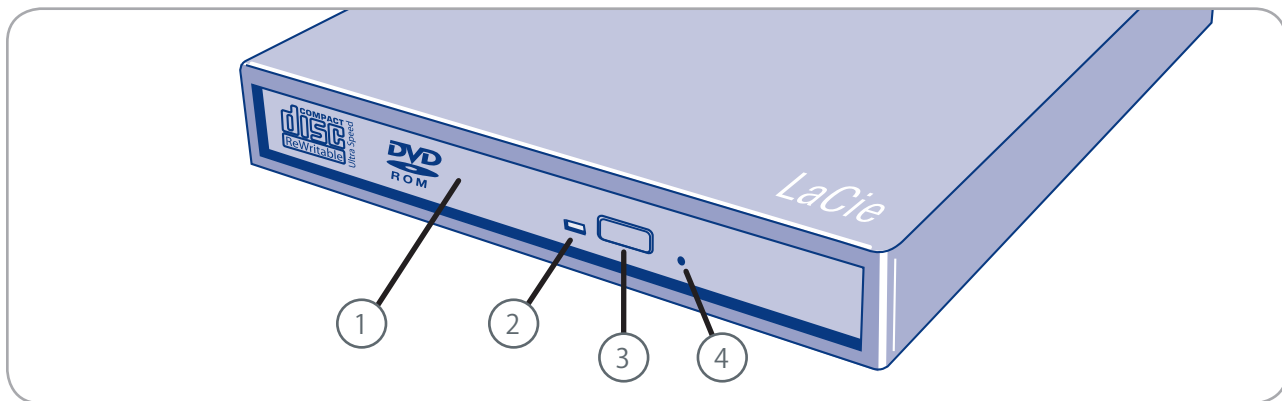
重要な情報: 購入時の梱包材は保管しておいてください。本製品の修理または点検が必要になった場合、必ず製品の包装箱に梱包してご返送ください。

*LaCie Portable DVD ±RW FireWire モデルには、USB 2.0 ケーブル、電源、および USB 電力共有ケーブルは付属していません。

**LaCie Portable DVD±RW USB モデルには FireWire 400 ケーブルは付属していません。

1.3. ドライブの外観

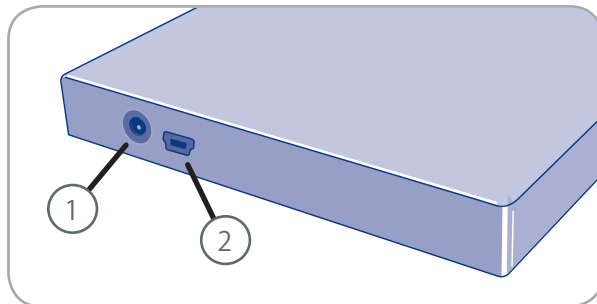
■ 正面図 (すべてのモデル)



- ① ディスクトレイ-[Open/Close] ボタンを押してトレイを開き、CD または DVD ディスクをラベル側を上にしてトレイに置きます。トレイを閉じるには、[Open/Close] ボタンを押すか、またはトレイを押します。このドライブは、カートリッジ付きのメディアには対応していません。
- ② Drive Activity LED
- ③ [Load/Eject] ボタン - このボタンを押してメディアトレイを開閉します。
- ④ **Emergency Eject Hole** - [Load/Eject] ボタンが機能しない場合は、ゼムクリップを伸ばしたものなどを差し込んで押し、トレイを開きます (イジェクトします)。通常の使用でトレイを開くには、必ず [Open/Close] ボタンを使用してください。Emergency Eject Hole を使用しなければならない場合は、必ずドライブの電源を切り、ディスクの回転が停止するまで待ってください。

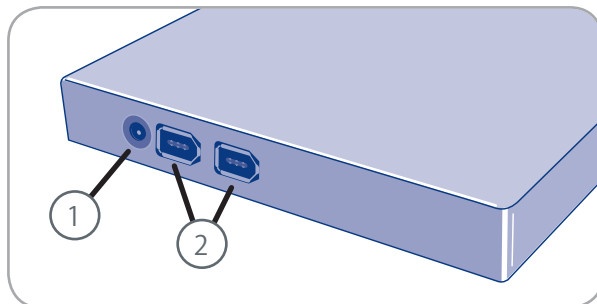
■ 背面図 (USB 2.0)

- ① 電源接続 - ここに、ドライブ付属の AC アダプタを差し込みます。詳細については「[2.4. 電源の接続](#)」を参照してください。
- ② Hi-Speed USB 2.0 ポート - ここに、ドライブ付属の USB 2.0 ケーブルを差し込みます。詳細については、「[2.2. USB 2.0 ケーブルの接続](#)」を参照してください。



■ 背面図 (FireWire 400)

- ① 電源接続 - ここに、ハードドライブにオプションの AC アダプタを差し込みます (別売)。詳細については「[2.4. 電源の接続](#)」を参照してください。
- ② FireWire 400 ポート - ここに、ハードドライブに付属する FireWire 400 ケーブルを差し込みます。詳細については、「[2.3. FireWire 400 ケーブルの接続](#)」を参照してください。



1.4. ケーブルおよびコネクタ

■ Hi-Speed USB 2.0

USBは、周辺装置とコンピュータを相互に接続するためのシリアル入力/出力テクノロジーです。Hi-Speed USB 2.0は、この規格の最新の実装であり、ハードドライブ、CD/DVDドライブ、デジタルカメラなどの高速デバイスをサポートするために必要な帯域とデータ転送速度を提供します。

USB 2.0 ケーブル

Hi-Speed USB 2.0 ポートに接続したときに最大のデータ転送パフォーマンスを確保するため、本製品には Hi-Speed USB 2.0 ケーブルが付属しています。ケーブルは、USB 1.1 ポートに接続しても機能しますが、ハードディスクのパフォーマンスは USB 1.1 の転送速度に制限されます。

USB 2.0 ケーブルとケーブルエンド



USB アイコン

これらのアイコンによって簡単に USB インタフェースを識別できます。これらのアイコンは、USB ケーブルおよび、一部のコンピュータの USB ポート コネクタの横に記載されています。



■ FireWire 400

FireWire 400 は、IEEE 1394a とも呼ばれ、コンピュータと周辺デバイスを相互に接続するための高速シリアル入力/出力テクノロジーです。

FireWire ケーブル

現在市場に出回っている FireWire 400 ケーブルには、2 種類あります。6-6 ピンおよび 6-4 ピン (別売) のケーブルです。

FireWire 400 ケーブルとケーブルエンド



iLink/DV ケーブルとケーブルエンド (別売)



FireWire アイコン

これらのアイコンを使用して、FireWire インタフェースを簡単に識別できます。アイコンは、FireWire ケーブル上、および一部のコンピュータの FireWire ポート コネクタの横に記載されています。



1.5. サポートされた DVD および CD フォーマット

フォーマット	ディスクの種類	書き込み速度	容量
DVD	DVD±R DL	4x	8.5GB
	DVD±R	8x	4.7GB
	DVD+RW	8x	4.7GB
	DVD-RW	6x	4.7GB
	DVD-ROM (単層および片面二層)	--	4.7/8.5GB
CD	CD-R	32x	700MB
	CD-RW	24x	650MB
	CD-ROM	--	--

■ DVD および CD メディア フォーマットの定義

DVD+RW ディスク

- ❖ 最適な用途: デジタル コンテンツのバックアップ およびアーカイブ。
- ❖ 機能面は CD-RW および DVD-RW ディスクと同じですが、記録技術は DVD+R と同じものを採用しています。
- ❖ DOW (Direct Overwrite) システムを組み込んでいるため、シングルパスにある既存データにデータを直接上書きできます。

DVD-RW ディスク

- ❖ 最適な用途: デジタル コンテンツのバックアップ およびアーカイブ。
- ❖ CD-RW メディアのように多目的で使用されます。ただし、CD-RW の容量は 650MB、DVD-RW の容量は 4.7GB です。
- ❖ ディスクの書き込みと消去は、1,000 回まで可能です。

DVD+R ディスク

- ❖ 最適な用途: DVD ビデオの録画、複数の写真アル

バムおよび容量が 4.7GB 未満のデータ DVD の保存。

- ❖ CD-R メディアと同じ write-once (データを一度だけ書き込み可能) の概念を採用しています。ただし、CD-R ディスクが 700MB の容量であるのに対して、DVD-R ディスクの容量は 4.7GB です。
- ❖ DVD+R は、「ロスレス リンキング」技術、および CAV (Constant Angular Velocity) と CLV (Constant Linear Velocity) の複合記録技術をサポートしています。

DVD-R ディスク

- ❖ 最適な用途: DVD ビデオの録画、複数の写真アルバムおよび容量が 4.7GB 未満のデータ DVD の保存。
- ❖ 機能面は CD-R メディアと同じで、容量は DVD+R ディスクと同じです。
- ❖ DVD-R ディスクには 2 つの種類があります。一般用の DVD-R General と、業務用として DVD-Video 開発アプリケーションに使う DVD-R Authoring です。

DVD+RDL または DVD-RDL (片面二層) ディスク

- ❖ 適した用途高画質 DVD ビデオの記録、大容量データ DVD のバックアップとアーカイブ。
- ❖ DVD+ 記録方式に準拠。ディスク容量は、従来の DVD±R ディスクの 4.7GB に対し 8.5 GB です。
- ❖ 容量が増えたことで、ビデオ ビット レートを増やしてより高画質な DVD ビデオを作成できるようになりました。

CD-R ディスク

- ❖ 最適な用途: オーディオ CD の記録、写真およびデータ CD の保存。
- ❖ CD-R ディスクからファイルを削除することはできません。また、CD-R ディスクの既存のファイルに上書きすることはできません。

CD-RW ディスク

- ❖ 最適な用途: オフィス内や学生の間で行う中規模サイズのファイルの受け渡し。
- ❖ ディスクは最高 1,000 回まで再フォーマットでき、また、ファイルを上書きすることもできます。
- ❖ ほとんどの CD-ROM ドライブおよびオーディオ CD プレーヤーでは、CD-RW ディスクを読み取ることはできません。

最適な記録結果を実現するには

- ❖ 他のすべてのプログラムを閉じ、インターネット接続を切断します。
- ❖ まずデータをハード ディスクにコピーします。
- ❖ メディアの速度を確認します。
- ❖ 傷や指紋のついていないメディアを使用します。

2. LaCie Portable DVD±RW Drive の接続

LaCie Portable DVD±RW Drive を接続して電源を入れる手順は、次の 3 つの段階に分かれます。

ステップ 1	DVD/CD 焼き付けソフトウェアのインストール	15 ページ
ステップ 2	USB 2.0 ケーブルの接続	16 ページ
	または FireWire 400 ケーブルの接続	17 ページ
ステップ 3	電源の接続	18 ページ

2.1. DVD/CD 焼き付けソフトウェアのインストール

■ 記録用ソフトウェアのインストール

LaCie DVD ユーティリティ CD-ROM をコンピュータの DVD ドライブに挿入し、お使いの LaCie Portable DVD±RW Drive モデルに対応した指示に従います。異なるプログラムの詳細については、ソフトウェアのヘルプ メニューを参照してください。

■ FireWire

Toast 6 Titanium CD-ROM アイコンをダブルクリックして、[Toast Titanium]フォルダを開きます。ドラッグ アンド ドロップ操作で Roxio Toast Titanium アプリケーション アイコンをハード ドライブの [Applications] フォルダに移します。

■ USB 2.0

Easy Media Creator を使用して DVD Utilities CD-ROM を挿入し、CD アイコンをダブルクリックします。[Easy Media Creator] フォルダを開きます。インストーラをダブルクリックし、画面上の指示に従います。

Cineplayer を使用して DVD Utilities CD-ROM を挿入し、CD アイコンをダブルクリックします。[Cineplayer] フォルダを開きます。インストーラをダブルクリックし、画面上の指示に従います。

重要な情報: 使用可能なソフトウェアはモデルによって異なります。ソフトウェアの詳細については、製品の梱包箱、または CD-ROM のラベルを確認してください。

使用できる主なソフトウェアは次のとおりです (選択いただいたモデルによって異なります)。

記録用ソフトウェア

- ❖ Toast Titanium (Mac)
- ❖ Toast Basic (Mac)
- ❖ Easy Media Creator (Windows)
- ❖ Cineplayer (Windows)

当社はこれらのソフトウェアの上位バージョン、または別のソフトウェアを含める権利を有します。正確な一覧については、製品の梱包箱を確認してください。

Toast Titanium、Toast Basic、および Easy Media Creator の詳細は、www.roxio.comを参照してください。

ソフトウェアのアップデートについては、当社の Web サイトをご覧ください。www.lacie.com/support/drivers/dvd

技術面での注意: 初めて Toast Titanium を使う場合は、CD キーの確認が行われます。Toast Titanium のシリアル番号は、LaCie Portable DVD±RW ユーティリティ CD-ROM の前面に書かれています。

2.2. USB 2.0 ケーブルの接続

1. Hi-Speed USB 2.0 ケーブルをドライブの背面にある USB 2.0 ポートに接続します。
2. USB 2.0 ケーブルの他端を、コンピュータの空いている USB ポートに差し込みます。
3. 以上でドライブをお使いいただく準備ができました。ドライブが正しくインストールされていて、コンピュータと通信していることを確認するには、次の手順に従います。

Mac をご使用の方

[Apple] メニューの [この Mac について] をクリックし、[詳しい情報] を選択します。これで、Apple システム プロファイラが開きます。ドライブが [ハードウェア] カテゴリに一覧されます。

Windows をご使用の方

[マイ コンピュータ] フォルダを右クリックし、[プロパティ] を選択します。[一般情報] をクリックします。ドライブが一覧表示されます。

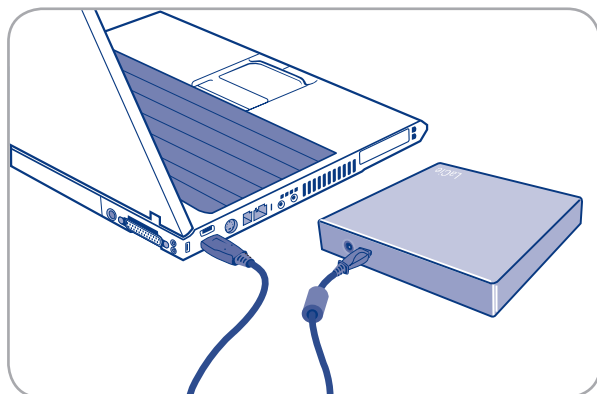


図 2.2

技術面での注意: ドライブは USB 2.0 (USB 1.1 ではなく) ポートに接続する必要があります。「[1.4. ケーブルおよび接続](#)」を参照してください。

技術面での注意: USB 接続について詳しくは、次のセクションをご覧ください。

❖ [1.4. ケーブルおよび接続](#)

❖ [4.5. USB に関する Q & A](#)

2.3. FireWire 400 ケーブルの接続

1. FireWire 400 ケーブルをドライブ背面の FireWire 400 ポートに接続します。
2. インタフェース ケーブルの他端を、コンピュータの空いている FireWire 400 ポートに差し込みます。
3. 以上でドライブをお使いいただく準備ができました。ドライブが正しくインストールされていて、コンピュータと通信していることを確認するには、次の手順に従います。

Mac をご使用の方

[Apple] メニューの [この Mac について] をクリックし、[詳しい情報] を選択します。これで、Apple システム プロファイラが開きます。ドライブが [ハードウェア] カテゴリに一覧されます。

Windows をご使用の方

[マイ コンピュータ] フォルダを右クリックし、[プロパティ] を選択します。[一般情報] をクリックします。ドライブが一覧表示されます。

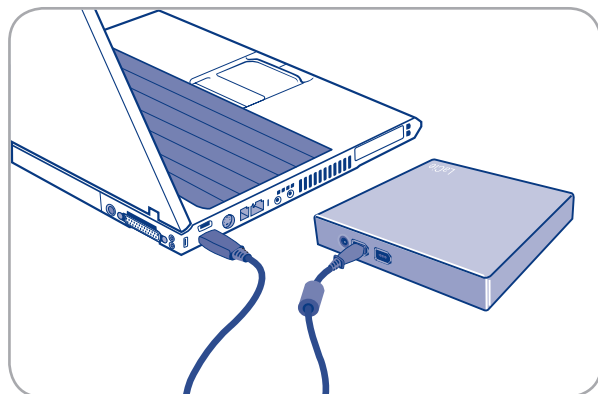


図 2.3

技術面での注意: FireWire 接続について詳しくは、次のセクションをご覧ください。

- ❖ [1.4. ケーブルおよび接続](#)
- ❖ [4.4. FireWire に関する Q & A](#)

2.4 電源の接続

LaCie Portable DVD±RW ドライブを適切な電源に接続すると、自動的に電源が入ります。電源の情報については以下を参照してください。

■ FireWire

LaCie Portable DVD±RW FireWire は、コンピュータの FireWire バスから電源を得るため、外部の電源は必要としません。FireWire バスがドライブの操作に必要なだけの電力を供給しない場合は、LaCie 販売代理店にお問い合わせいただくか、www.lacie.com にアクセスして電源をご購入ください。

■ USB 2.0

LaCie Portable DVD±RW USB 2.0 は、コンピュータの USB バスから電源を得るため、外部の電源は必要としません。USB バスがドライブの操作に十分な電源を供給しない場合は、次の付属の電源を使用してください。

- ❖ **外付け電源** – コンセントがある場合は外付け電源を使用してください (図 2.4.A)。
- ❖ **USB 電力共有ケーブル** – コンセントがない場合は、コンピュータから電力を引いてください (図 2.4.B)。電源の入った 2 つの USB ポートが必要です。

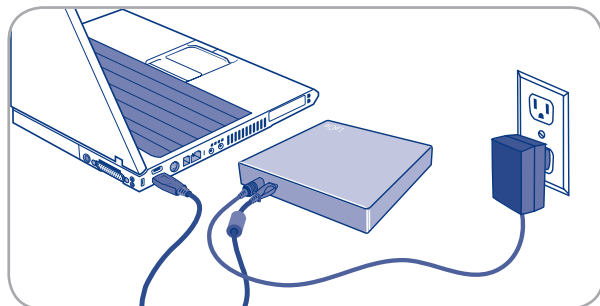


図 2.4.A

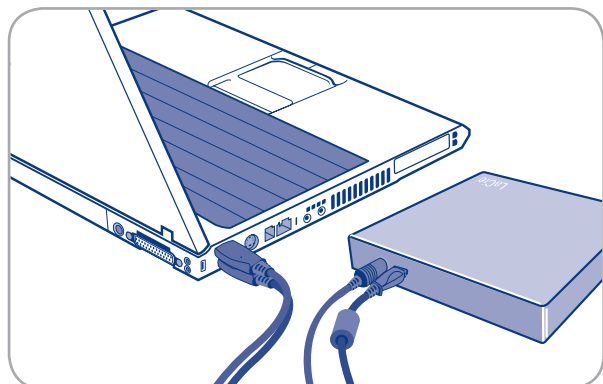


図 2.4.B

注意:

- ❖ 本製品付属の専用 AC アダプタのみを使用してください。他の LaCie 製品の電源装置や他のメーカーの電源装置は、使用しないでください。他の電源ケーブルまたは電源装置を使用すると、装置の損傷をきたし、保証が無効になる場合があります。
- ❖ 本製品を移動するときは、必ず AC アダプタを取り外してください。アダプタを取り外さないで移動すると、ドライブが損傷し、保証の対象外となる場合があります。
- ❖ 電源が破損している場合は、最寄の LaCie 販売店または次の当社 Web サイトからご購入いただけます。

www.lacie.com/jp

3. LaCie Portable DVD±RW Drive を使用する

3.1. ディスクの挿入

ディスクを挿入するには

1. LaCie Portable DVD±RW Drive 上の [Open/Close] ボタンを押します。
2. ディスクトレイが開いたら、DVD または CD メディアをラベルを上にしてトレイに置きます。DVD または CD がディスクトレイの中央に正しく置かれていることを確認します。
3. [Open/Close] ボタンを押してこれを閉じます。

無理にドアを開けないでください。ドライブが損傷します。ドアを開くには、電源をオンにしておく必要があります。また、ドライブを正常に動作させるために、平らな場所に置いてください。

ディスクトレイを閉じるには

[Open/Close] ボタンを押します。閉じたメディアトレイは押さないでください。

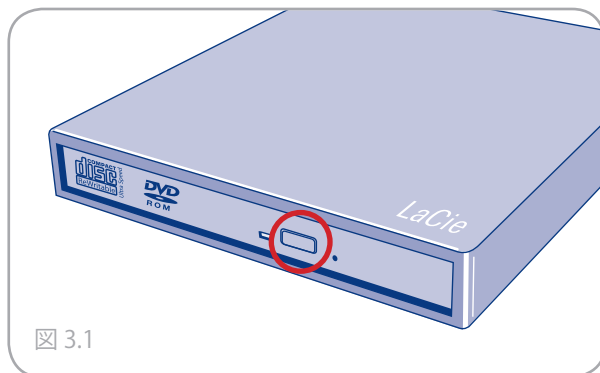
3.2. ディスクへのアクセス

Mac をご使用の方

DVD または CD ボリュームは、デスクトップ上にアイコンで表示されます。このアイコンをクリックして DVD または CD のコンテンツを表示してください。

Windows をご使用の方

DVD または CD ボリュームは、[マイ コンピュータ] フォルダに表示されます。このアイコンをクリックしてディスクの内容を表示してください。



注意:

- ❖ ディスクトレイを無理に開け閉めしないでください。ドライブが損傷します。
- ❖ ドライブを持ち運ぶときは、必ずディスクを取り出してください。
- ❖ ドライブの稼動中は移動しないでください。
- ❖ ドライブはカートリッジと互換性がありません。

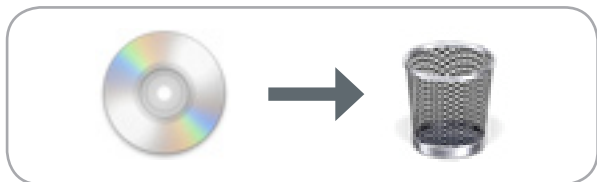
3.3. ディスクの取り出し

Mac をご使用の方

1. デスクトップの DVD/CD アイコンを [ごみ箱] にドラッグします。ディスクトレイが開きます。
2. ディスクを取り出します。
3. ドライブの [Open/Close] ボタンを押してディスクトレイを閉じます。

Windows をご使用の方

1. ドライブ前面にある [Open/Close] ボタンを押します。
2. ディスクを取り出します。
3. ドライブの [Open/Close] ボタンを押してディスクトレイを閉じます。



注意: LaCie Slim Combo CD-RW Drive の使用中、およびコンピュータが LaCie Slim Combo CD-RW Drive にアクセスしているときにディスクトレイを開いたり、ディスクを取り出したりしないでください。怪我につながる可能性のみでなく、ドライブやコンピュータを損傷する恐れもあります。ディスクトレイを開いたままで、または DVD や CD ディスクを中に入れてままでドライブを持ち運ばないでください。本体やディスクに保存されたデータを損傷する可能性があり、保証の対象外となります。

3.4. ディスクの緊急取り出し

[Open/Close] ボタンを使用しても DVD や CD を取り出すことができず、ソフトウェアでドライブを制御できなくなったときは、緊急取り出し操作を実行してディスクトレイを開きます。

1. ドライブのスイッチを切り、インターフェースケーブルを取り外します。
2. ゼムクリップを伸ばしたものなど、金属製の先の尖ったものをこの穴 (図 3.4 を参照) に差し込み、手動取り出し装置に触れるまで押します。手応えがあり、ディスクトレイが開きます。この方法は、[Open/Close] ボタンが機能しないときのみ使用してください。

注意: 緊急取り出し手順を実行する前に、ドライブの電源をオフにして電源コードを外したかどうかを確認してください。



図 3.4

4. 役立つ技術情報

4.1. ファイルシステムフォーマット

DVD±R/RW および CD-R/RW ディスクへの書き込み時に、ディスクに特定のファイルフォーマット (格納およびデータ交換の管理用にコンピュータが名前をつけて管理する方法) を割り当てることができます。LaCie DVD、CD ドライブの使用時には、主に次の 3 つの関連するファイルシステムフォーマットがあります。

- ❖ Universal Disk Format (UDF)
- ❖ ISO 9660
- ❖ Mac OS 拡張 (別称: HFS+)

UDF - Optical Storage Technologies Association が開発したこの規格は、各種さまざまな Blu-ray、DVD/CD アプリケーション、ハードウェア プラットフォーム、およびコンピュータ間の互換性を実現する優れたファイルシステムです。

ISO 9660 - これは標準的なファイルシステムで、Mac、Windows、その他の主要なコンピュータ プラットフォームでメディアの読み込みを実現します。国際標準化機構が策定したもので、DVD-ROM および

CD メディアのファイルシステムを定義する規格です。ISO 9660 は、Microsoft Windows、Mac OS、および Unix 規格に準拠したオペレーティングシステムには対応していますが、長いファイル名やアイコンのオプションなど、Mac ファイルシステムのカスタム機能には対応していません。Microsoft では Joliet という拡張フォーマットを開発し、これによって 64 文字までの長さの Unicode ファイル文字名およびファイル名が可能です (ISO 9660 Level 2 および 3 仕様の約 2 倍)。

Mac OS 拡張 - Macintosh で使用されているファイルシステムで、HFS+ と呼ばれます。ディスクを Mac のみで使用する場合は、このファイルフォーマットが適しています。

ハイブリッド ディスク (Mac & PC) - また、Mac ユーザーは 2 つのパーティションを含むハイブリッドディスクを作成することもできます。1 つは Mac ユーザーに表示され、もう 1 つは Windows ユーザーに表示されます。Toast Titanium ではこのファイルシステムの選択はできません。

4.2. DVD±RW 書き込み方式

DAO (Disc at Once) - DVD 全体を 1 回のセッションで記録する書き込み方式で、記録が完了した後にデータを追加できません。リードイン領域、データ領域、リードアウト領域がすべて連続して書き込まれる点で、CD-R の DAO 方式とは異なります。

SAO (Session at Once) - DAO のように、すべての情報を 1 つのセッションで書き込む方式ですが、SAO では後で別のセッションおよび記録を開始できます。この方式では、PW (Packet Writing) または TAO よりもはるかに記録プロセスを制御でき、トラック間のギャップが必要ないため、より多くのディスク容量を使用できます。

Incremental Recording (IR) - CD-R の書き込みに使われる SAO (Session at Once) とほぼ同じ方式です。ディスクへの書き込み前に、ファイルをハードディスクに記録しなくても、DVD-R ディスクに直接追加できます (1 回の記録につき 1 つ)。ただし、最小記録サイズは少なくとも 32KB (記録されるファイルがそれ以下のサイズであっても) でなければならず、リードイン / リードアウト領域とデータの組み合わせのオーバーヘッドにより、空き容量と書き込み速度は両方とも減少します。また、ディスクの記録に使用したドライブ以外のドライブで再生する前に、ディスクの完了処理を行う必要があります。

MBR (Multi-Border Recording) - IR に非常によく似た書き込み方式で、IR ディスクを作成することができます。作成されたディスクは、MBR 対応デバイスで再生できます。MBR 方式では、記録セッションの周辺に非常に短い境界域を作成することで、対応しているプレイヤーまたは DVD-ROM ドライブが

記録された領域を超えて再生を行わないようにします。代わりに MBR 方式をサポートするプレイヤーにより、完了処理を行っていないディスクの読み取りができるようにします。

RO (Restricted Overwriting) - この方式を使用すると、すでに書き込み済みのディスクの場合、新しいデータ セグメントを記録済み境界内へランダムに挿入することができます。ただし、新しいデータはすでに記録済みのディスクの領域、および最終セッションが停止したエリアにのみ追加できます。

PW (Packet Writing) - データのバックアップに非常に役立つドラッグアンドドロップの書き込み方式です。データが数 KB の「パケット」で書き込まれるため、この方式でバッファアンダーラン*が発生することはありません。PW (Packet Writing) はディスク上の使用可能なスペースを継続的に確認するため、CPUに負担のかかるプロセスです。

技術面での注意: *バッファアンダーラン - ディスクへの記録は、システム集中型のアプリケーションで行われ、書き換え型ドライブには一定のデータの流れが必要となります。バッファアンダーランは、書き換え型ドライブのバッファを一杯の状態にしておけるほどドライブへのデータの流れが速くないときに発生し、記録プロセスでのエラーを引き起こします。この問題が頻繁に発生するようであれば、記録速度を下げてください。

	DAO	SAO	IR	MBR	RO	PW
CD	X	X				X
DVD	X		X	X	X	

4.3. 利用可能な DVD/CD の容量について

ビデオ、オーディオ、またはデータを CD ディスクまたは DVD ディスクに記録する場合に注意すべき重要事項があります。DVD メディアの仕様には、4.7" (12cm) と 3.1" (8cm) の 2 つの規格があります (双方とも、厚さは .47" (1.2cm) です)。DVD ディスクは片面で (シングル サイド) であり、データ書き込み層は単層 (SL) か二層 (DL) です。

ディスクに保持できるデータまたはビデオの容量は、オーディオの容量およびデータ、ビデオ、またはオーディオの圧縮率などの条件に応じて異なります。

メディアのメーカーが基準としているディスク容量は、ギガバイト (GB) での総容量、または 10 億バイト (1000 x 1000 x 1000 バイト) で表されています。ただし、この数値はコンピュータが扱うものとは異なります。コンピュータは 2 進数で数値を扱うため、数値は 10 億 7,374 万 1,824 バイト (1024 x 1024 x 1024 バイト) となり、10 億バイトよりも大きくなります

4.4. FireWire に関する Q & A

■ FireWire/IEEE 1394 とは

外部コンピュータおよび一般向け電子デバイスを、コンピュータおよび一般向け電子コンソールに接続するためのシリアルバスです。

■ IEEE 1394 の意味

"1394" とはこの高性能シリアルバスの名前「IEEE 1394」を略したものです。IEEE (the Institute of Electrical and Electronic Engineers: 米国電気電子学会) は、この規格を制定した電気 / 電子関連の組織名です。1394 は、IEEE が作成した 1,394 番目の規格という意味です。

■ IEEE 1394、FireWire、iLink、DV の関係

これら 4 つの名前は、すべて同じインタフェースを表します。

- ❖ **IEEE 1394** - コンピュータ産業で使用される規格の名前。
- ❖ **FireWire** - アップル社が使用しているブランド名。
- ❖ **iLink** - Sony が使用しているブランド名。
- ❖ **DV** - ビデオカムコーダの製造会社で使用するロゴ。

■ FireWire インタフェースの使用目的とは

FireWire は、データ転送速度が速く、BD、DVD、および CD レコーダ、外付けハードディスクなどの一般向け電子機器、およびデジタルカムコーダといったビデオデバイスに最適のインタフェースです。こ

れは FireWire が非常に広い帯域幅を持ち、スピード重視のデータ転送を確実なものにする 2 種類のデータ転送 (非同期転送および同期転送) をサポートしているためです。

また、FireWire はポイントツーポイント インタフェースであり、ある FireWire デバイスはコンピュータを介さずに別の FireWire デバイスにデータを転送できます。これにより数台のコンピュータに特定のデバイスを共有させ、同じ FireWire バスに最高 63 個のデバイスをデジチェーンで接続できます (このとき、1 つのブランチに最高 16 個のデバイスを接続できます)。デジチェーンで接続するには、1 つの FireWire ドライブをコンピュータに直接接続し、次に別の FireWire ドライブを最初の FireWire ドライブに接続します。

■ コンピュータに FireWire ポートはありますか？

すべての Mac および最新の PC には FireWire または i-Link インタフェースが付属しています。お使いのコンピュータに FireWire インタフェースがない場合は、LaCie の販売代理店または次の当社サイトから拡張カードをご購入ください。www.lacie.com/jp

■ FireWire 800 ポートに接続した場合、LaCie ドライブの処理速度は向上しますか？

いいえ。LaCie ドライブは FireWire 800 ポートに接続できますが (ケーブルは別売り)、速度は変わりません。

4.5. USB に関する Q & A

■ USB インタフェースのメリットは何ですか？

- ❖ クロスプラットフォーム:最新の Macintosh と PC には USB ポートがあります。
- ❖ 「ホットスワップ可能」:USB デバイスを追加または削除したときに、コンピュータをシャットダウンまたは再起動する必要がありません。差し込むだけで、使用できるようになります。
- ❖ 自動構成:デバイスを接続すれば、コンピュータは自動的にデバイスを検出し、ソフトウェア (Windows 2000、Windows XP、および Windows Vista) を設定します。
- ❖ デイジーチェーン接続:コンピュータの USB ポートとハブを使用して、最高 127 個の周辺機器を接続できます。
- ❖ 簡単なインストール:1 つの標準規格化されたポートとプラグの組み合わせで、簡単に接続できます。

■ Hi-Speed USB 2.0 デバイスは USB 1.1 ハブ上で機能しますか。また、その逆の場合でも機能しますか。

Hi-Speed USB 2.0 デバイスは、USB 1.1 ハブで使用できますが、周辺装置のパフォーマンスは USB 1.1 のレベルに制限されます。

USB インタフェースの詳細については、次の当社 Web サイトを参照してください。

www.lacie.com/technologies

4.6. データ転送

データ転送とは、あるタスクを完了するためのデータの流れることで、通常ストレージからコンピュータの RAM へ、またはストレージ デバイス間でデータを移動することを意味します。データ転送中は、同じ FireWire または USB ポートを使用している他のアプリケーションを起動しないようお勧めします。OHCI (Open Host Controller Interface) 規格に準拠していない FireWire または USB コントローラ を備えたコンピュータでは、異常が発生する恐れがあります。他のどのような構成においても、正常な動作を 100% 保証することはできません。したがって、ハングアップが発生する可能性があります。ハングアップが生じた場合は、次の手順に従ってください。

1. FireWire または USB ケーブルの両端が、LaCie ハード ディスクとコンピュータにしっかり確実に接続されていることを確認します。LaCie ドライブに付属のケーブル以外の FireWire または USB ケーブルを使用している場合、FireWire (IEEE 1394) 認定のものであるかどうかを確認します。
2. 電力の供給を確認し、アースの接続が正しく行われていることを確認します。
3. コンピュータの FireWire/USB ケーブルを取り外します。30 秒待った後、再度接続します。

技術面での注意: *コントローラ - これは、コンピュータが特定の周辺機器と通信したり、周辺機器を管理したりできるようにするコンポーネントまたは電子カード (この場合、「コントローラ カード」) です。外付けコントローラとは、PC 内部の空きスロット (PCI または PCMCIA など) のいずれかに装着される拡張カードで、DVD/RW ドライブ、ハード ディスク、スキャナまたはプリンタといった周辺機器をコンピュータに接続できるようにするものです。コンピュータに FireWire コントローラ カードがない場合は、LaCie より外部コントローラをお買い求めください。詳細については、LaCie 販売代理店または LaCie テクニカル サポート ([「6 カスタマ サポートへの問い合わせ」](#)を参照) にご連絡ください。

5. トラブルシューティング

LaCie Portable DVD±RW Drive が正常に機能しない場合は、次のチェックリストを参照し、問題の原因をご確認ください。チェックリストの内容をすべて確認してもハード ディスクが正常に動作しない場合は、当社 Web サイト www.lacie.co.jp に公開されている FAQ をご一読ください。FAQ の中から質問の回答が見つかる場合があります。また、ドライバのページもご覧ください。最新のソフトウェア アップデートを入手できます。

さらに詳しいサポートが必要な場合は、LaCie 販売代理店または LaCie テクニカル サポート ([「6. カスタム サポートへの問い合わせ」](#)を参照) にお問い合わせください。

マニュアルの更新

当社は、市場で最も新しく包括的なユーザーズ マニュアルを用意することを常に心がけています。新しいデバイスを迅速にインストールしてさまざまな機能を利用できるように役立つ、フレンドリーで使いやすいフォーマットをお客様に提供することが、当社の目標です。

お買い求めになられた製品の構成がマニュアルに記載されていない場合は、当社 Web サイトをご覧ください、入手可能な最新のバージョンのマニュアルをご確認ください。

以下のページに記載されたトラブルシューティングのヒントは、OS の種類別に記載されています。

5.1. Mac のトラブルシューティング

問題	質問	解決方法
コンピュータがドライブを認識しません。	お使いのコンピュータは、このドライブを使用するためのシステム最小要件を満たしていますか。	「1.1. システム要件」 を参照してください。
	ドライブに電源が接続され、ドライブの電源がオンになっていますか。	電源が正しく接続されていること (「2.4. 電源の接続」 を参照)、および電源を接続したコンセントが通電されていることを確認してください。
	特定のインタフェースに適した手順でインストールを行いましたか。	「2.2. USB 2.0 ケーブルの接続」 と 「2.3. FireWire 400 ケーブルの接続」 のインストール手順を再度確認してください。
	ドライブのアイコンはデスクトップに表示されますか。	ドライブに CD または DVD が入っている場合は、デスクトップにデバイスのアイコンが表示されるはずですが、[Apple] メニューの 「この Mac について」 を選択し、 「詳しい情報」 ボタンをクリックします。LaCie ドライブのハードウェア カテゴリを確認してください。デバイスが表示されない場合は、この後に記載されているトラブルシューティングのヒントをすべて読んで、問題を解決してください。
	FireWire/USB ケーブルの両端がしっかりと取り付けられていますか。	<ul style="list-style-type: none"> FireWire または USB ケーブルを取り外し、10 秒経ってから再度接続してください。 FireWire/USB コネクタが正しく並んでいることを確かめてください。FireWire/USB ケーブルは、一方向にしか挿入できません。向きが正しいことを確認してください。 FireWire/USB コネクタが真っ直ぐで FireWire/USB ポートにきちんと取り付けられていることを確認してください。 FireWire/USB ケーブルは、LaCie Hard Drive Extreme with Triple Interface に付属のケーブルなど、認定を受けているもののみを使用してください。 <p>これらすべての指示に従い、それでもドライブが検出されない場合は、コンピュータを一度シャットダウンし、3～5 分間待ってから再起動してもう一度行ってください。</p>
	デバイスは、別のハード ディスクを介してコンピュータに接続されていますか。(FireWire のみ)	デバイスをコンピュータの FireWire ポートに直接接続してみてください。最大のパフォーマンスと信頼性を得るには、LaCie Portable DVD±RW Drive をコンピュータに直接接続します。
	その他のデバイスドライバまたはエクステンションとコンフリクト (競合) していませんか。	サポートが必要な場合は、LaCie カスタム サポートにお問い合わせください。 「6.1. LaCie カスタム サポートの窓口」 を参照してください。

問題	質問	解決方法
Hi-Speed USB 2.0 を介して接続しても、ドライブの動作速度が上がらない。	その他の USB または FireWire デバイスが、同じポートまたはハブに接続されていますか。	他の USB または FireWire デバイスをすべて取り外し、ハードディスクのパフォーマンスが改善されるかどうかを確認してください。
	LaCie silverscreen は、USB ハブに接続されていますか？	Hi-Speed USB 2.0 デバイスは Hi-Speed USB 2.0 ポートまたはハブに接続されたときにのみ、Hi-Speed USB 2.0 の速度で動作します。お使いの USB ハブが Hi-Speed USB 2.0 をサポートしていることを確認してください。
	ドライブはコンピュータの Hi-Speed USB 2.0 ポートに接続されていますか。	ホストバスアダプタとデバイスの両方に Hi-Speed USB 2.0 ドライバが正しくインストールされているかどうかを確認してください。不確かな場合は、ドライバをアンインストールして、再度インストールしてください。
	ご使用のコンピュータと OS は、Hi-Speed USB 2.0 に対応していますか。	詳細については、「 1.1. システム要件 」および「 4.6, データ転送 」を参照してください。
ドライブの動作が遅い。	ドライブはホスト コンピュータに直接接続されていますか？	ドライブがコンピュータに直接接続されていることを確認してください (詳細については「 2.3. USB ケーブルの接続 」または「 2.4. FireWire 400 ケーブルの接続 」を参照してください)。最大のパフォーマンスを得るには、周辺機器を経由した接続は行わず、デバイスをコンピュータに直接つなぎます。詳細については、「 4.6. データ転送 」を参照してください。
デバイスのメディアトレイが開きません。	ディスクアイコンをゴミ箱にドラッグしてみましたか。	ディスクアイコンを [ゴミ箱] にドラッグします。ディスクが自動的に出てくるはずですが、これで取り出せない場合は、使用しているソフトウェアプログラムの取り出し機能を試してください。
	実行中のソフトウェアプログラムによって、取り出し機能がロックされていませんか。	確認のため、インターフェース ケーブルを一度取り外し、再度接続して [Open/Close] ボタンを押します。それでもディスクを取り出せない場合は、「 3.4 ディスクの緊急取り出し 」にあるメディアの取り出し方法を参照してください。
ディスクに記録しようとしたときにドライブのメディアトレイが自動的に出されてしまう、または CD/DVD への書き込みが正常に行われな	ディスクがいっぱいではありませんか。	ディスクの内容を確認するには <ul style="list-style-type: none"> 記録用のソフトウェアを使用するか、または次の指示に従います。 デスクトップ上のディスクを選択し、[File] メニューから [Get Info (情報獲得)] を選択します。ディスクが空であるのにも関わらず、問題が解決されない場合は、別のメディアを使用してみてください。
	挿入したディスクは、本製品でサポートするフォーマットですか。	ドライブでサポートされているフォーマットについては、「 1.5. サポートされている DVD および CD フォーマット 」を参照してください。
	ディスクが損傷していませんか。	ディスクをよく調べます。ディスクの記録面 (明るい光沢のある反射面) に目で見えるような傷があるかどうかを確認します。傷がある場合は、別のディスクを使用してください。

問題	質問	解決方法
	記録用ソフトウェアは正常にインストールされていますか。	記録用ソフトウェアのインストールを再度確認し、必要であればソフトウェアを再インストールします。記録用ソフトウェアの詳細は、記録用ソフトウェアのトラブルシューティングとヘルプを参照してください。
	バッファアンダーランが発生していませんか (レコーダへのデータの流を遮断したものではありませんか)。	最高の記録ができるように、次のヒントに従ってバッファアンダーランによる遮断を回避してください。 <ul style="list-style-type: none">• 記録を開始する前に、他のすべてのソフトウェア プログラムを終了します。• [ファイル共有] が有効になっている場合は、無効にします。• CD から DVD へコピーするなど、直接記録を行う場合は、CD または DVD のドライブの再生速度が、LaCie ドライブに十分なデータ ストリームを提供できることを確認します。コピーを作成する場合は、コピーする内容をハード ディスクに移し、そこから記録を行うようにしてください。• 記録用ソフトウェアの該当メニューを使用して、LaCie DVD±RW Drive の書き込み速度を落とします。

5.2. Windows のトラブルシューティング

問題	質問	解決方法
コンピュータがドライブを認識しません。	お使いのコンピュータは、このドライブを使用するためのシステム最小要件を満たしていますか。	「1.1. システム要件」 を参照してください。
	ドライブに電源が接続され、ドライブの電源がオンになっていますか。	ドライブが USB ケーブルから接続されていて、USB バスからの電力供給がドライブを動作させるのに不十分な場合は、USB 電源共有ケーブルまたは電源に接続してください。 電源が正しく接続されていること (「2.4. 電源の接続」 を参照)、および電源を接続したコンセントが通電されていることを確認してください。
	特定のインターフェースに適した手順でインストールを行いましたか。	「2.2. USB 2.0 ケーブルの接続」 と 「2.3. FireWire 400 ケーブルの接続」 のインストール手順を再度確認してください。
	LaCie silverscreen のアイコンが [マイ コンピュータ] に表示されていますか？	[マイ コンピュータ] を開き、アイコンとハードディスクに割り当てられているドライブ文字を探します。ドライブが表示されない場合は、この後に記載されているトラブルシューティングのヒントをすべて読んで、問題を解決してください。
	FireWire/USB ケーブルの両端がしっかりと取り付けられていますか。	<ul style="list-style-type: none"> FireWire または USB ケーブルを取り外し、10 秒経ってから再度接続してください。 FireWire/USB コネクタが正しく並んでいることを確かめてください。FireWire/USB ケーブルは、一方向にしか挿入できません。向きが正しいことを確認してください。 FireWire/USB コネクタが真っ直ぐで FireWire/USB ポートにきちんと取り付けられていることを確認してください。 FireWire/USB ケーブルは、LaCie Hard Drive Extreme with Triple Interface に付属のケーブルなど、認定を受けているもののみを使用してください。 <p>これらすべての指示に従い、それでもドライブが検出されない場合は、コンピュータを一度シャットダウンし、3～5 分間待ってから再起動してもう一度行ってください。</p>
	デバイスは、別のハード ディスクを介してコンピュータに接続されていますか。(FireWire のみ)	デバイスをコンピュータの FireWire ポートに直接接続してみてください。最大のパフォーマンスと信頼性を得るには、LaCie Portable DVD±RW Drive をコンピュータに直接接続します。
	その他のデバイスドライバまたはエクステンションとコンフリクト (競合) していませんか。	サポートが必要な場合は、LaCie カスタム サポートにお問い合わせください。 「6.1. LaCie カスタム サポートの窓口」 を参照してください。

問題	質問	解決方法
コンピュータがドライブを認識しません。	FireWire/USB ドライバが正しくインストールされ、使用可能な状態になっていますか？	<p>Windows 2000 をご使用の方:[Start (スタート)] > [Settings (設定)] > [Control Panel (コントロールパネル)] > [System (システム)] > [Hardware (ハードウェア)] タブ > [Device Manager (デバイス マネージャ)] ボタン > [USB Controller (USB コントローラ)] または [IEEE 1394 Controller (IEEE 1394 コントローラ)]を開いてください。コントローラのアイコンの隣にある「+」印をクリックし、デバイスがリストに表示されていることを確認してください。</p> <p>Windows XP と Windows Vista をご使用の方:[Start (スタート)] > [Control Panel (コントロールパネル)] > [Performance and Maintenance (パフォーマンス & メンテナンス)] > [System (システム)] > [Hardware (ハードウェア)] タブ > [Device Manager (デバイス マネージャ)] ボタン > [USB Controller (USB コントローラ)] または [IEEE 1394 Controller (IEEE 1394 コントローラ)]を開いてください。コントローラのアイコンの隣にある「+」印をクリックし、デバイスがリストに表示されていることを確認してください。</p> <p>それでもデバイスが表示されない場合は、ケーブルを再度チェックし、ここに記載されているその他のトラブルシューティングのヒントを試してみてください。</p>
	Hi-Speed USB 2.0 を介して接続しても、ドライブの動作速度が上がらない。	<p>その他の USB または FireWire デバイスが、同じポートまたはハブに接続されていますか？</p> <p>LaCie silverscreen は、USB ハブに接続されていますか？</p> <p>ドライブはコンピュータの Hi-Speed USB 2.0 ポートに接続されていますか？</p> <p>ご使用のコンピュータと OSは、Hi-Speed USB 2.0 に対応していますか？</p>
ドライブの動作が遅い。	ドライブはホスト コンピュータに直接接続されていますか？	ドライブがコンピュータに直接接続されていることを確認してください (詳細については「 2.2. USB ケーブルの接続 」または「 2.3. FireWire 400 ケーブルの接続 」を参照してください)。最大のパフォーマンスを得るには、周辺機器を経由した接続は行わず、デバイスをコンピュータに直接つなぎます。詳細については、「 4.6. データ転送 」を参照してください。
DVD-Video 再生が動作しない。	適切な MPEG-2 ソフトウェア デコーダをインストールしていますか？	MPEG-2 ソフトウェアが正常にインストールされているかどうかを確認します。詳細については、ソフトウェアプログラムのヘルプを参照してください。
	使用している DVD 再生ソフトウェアで、LaCie DVD±RW Drive がデフォルトの DVD ドライブに設定されていますか？	LaCie ドライブをデフォルト DVD プレーヤーに設定する方法については、DVD 再生ソフトウェアのヘルプを参照してください。
	他のソフトウェア プログラムを同時に実行していませんか？	他のプログラムを実行中かどうかを確認します。実行中の場合はすべて終了します。コンピュータの設定によっては、DVD プレーヤーのソフトウェアが単独で実行している場合のみ再生可能な場合があります。

<p>ディスクに記録しようとしたときにドライブのメディアトレイが自動的に出されてしまう、または CD/DVD への書き込みが正常に行われな</p>	<p>ディスクがいっぱいではありませんか。</p>	<p>ディスクの内容を確認するには</p> <ul style="list-style-type: none"> 記録用のソフトウェアを使用するか、または次の指示に従います。 デスクトップ上のディスクを選択し、[File] メニューから [Get Info (情報獲得)] を選択します。ディスクが空であるのにも関わらず、問題が解決されない場合は、別のメディアを使用してみてください。
	<p>挿入したディスクは、本製品でサポートするフォーマットですか。</p>	<p>ドライブでサポートされているフォーマットについては、「1.6. サポートされている DVD および CD フォーマット」を参照してください。</p>
	<p>ディスクが損傷していませんか。</p>	<p>ディスクをよく調べます。ディスクの記録面 (明るい光沢のある反射面) に目で見えるような傷があるかどうかを確認します。傷がある場合は、別のディスクを使用してください。</p>
	<p>記録用ソフトウェアは正常にインストールされていますか。</p>	<p>記録用ソフトウェアのインストールを再度確認し、必要であればソフトウェアを再インストールします。記録用ソフトウェアの詳細は、記録用ソフトウェアのトラブルシューティングとヘルプを参照してください。</p>
	<p>バッファアンダーランが発生していませんか (レコーダへのデータの流れを遮断したものではありませんか)。</p>	<p>最高の記録ができるように、次のヒントに従ってバッファアンダーランによる遮断を回避してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 記録を開始する前に、他のすべてのソフトウェア プログラムを終了します。 ネットワークから切断します。 CD から DVD へコピーするなど、直接記録を行う場合は、CD または DVD のドライブの再生速度が、LaCie ドライブに十分なデータストリームを提供できることを確認します。コピーを作成する場合は、コピーする内容をハード ディスクに移し、そこから記録を行うようにしてください。 記録用ソフトウェアの該当メニューを使用して、LaCie DVD±RW Drive の書き込み速度を落とします。

6. カスタマ サポートへのお問い合わせ

■ カスタマ サポートへお問い合わせになる前 に

このマニュアルをよくお読みになり、「トラブルシューティング」を再度ご確認ください。

問題点を明確にしてください。可能であれば、CPU 上の外付けデバイスを本ドライブだけにして、すべてのケーブルが正しくしっかりと取り付けられていることを確認してください。

「トラブルシューティング」のチェックリストにすべて目を通し、問題が該当しないかどうかを確認します。それでもドライブが正常に動作しない場合は、このマニュアルに記載の Web リンク経由で LaCie までご連絡ください。次の情報をお手元にご用意の上で、当社へお問い合わせください。

www.lacie.com/support

情報	確認箇所
1. LaCie Portable DVD±RW Drive のシリアル番号	デバイス背面のシール、または納品時の梱包箱にあります。
2. Macintosh/PC の機種	Mac をご使用の方:メニュー バーの Apple アイコンをクリックし、[この Mac について] を選択します。 PC をご使用の方:[マイ コンピュータ] アイコンを右クリックし、[プロパティ] を選択します。
3. オペレーティング システムのバージョン番号	
4. プロセッサの速度	
5. コンピュータ メモリ	
6. コンピュータにインストールされている内蔵および外付け周辺機器のメーカー名とモデル名	Mac をご使用の方:[Finder] バーのアップル アイコンをクリックし、[この Mac について] を選択します。[More Info... (詳細情報...)] を選択します。Apple のシステム プロファイラが起動され、内蔵および外付け周辺機器がリストアップされます。 PC をご使用の方:[マイ コンピュータ] アイコンを右クリックし、[プロパティ] を選択し、[デバイス マネージャ] をクリックします。
7. 問題の発生時に使用されるメディアのタイプ	Mac をご使用の方:ソフトウェアから [Recorder] をクリックし、[CD info] をクリックします。 PC をご使用の方:ソフトウェアから [Tools] をクリックし、[CD info] をクリックします。

6.1 LaCie テクニカル サポートの連絡先

LaCie アジア、シンガポールおよび香港 連絡先： http://www.lacie.com/asia/contact/	LaCie オーストラリア 連絡先： http://www.lacie.com/au/contact/
LaCie ベルギー 連絡先： http://www.lacie.com/be/contact/ (フランス語)	LaCie カナダ 連絡先： http://www.lacie.com/caen/contact/ (英語)
LaCie デンマーク 連絡先： http://www.lacie.com/dk/contact	LaCie フィンランド 連絡先： http://www.lacie.com/fi/contact/
LaCie フランス 連絡先： http://www.lacie.com/fr/contact/	LaCie ドイツ 連絡先： http://www.lacie.com/de/contact/
LaCie イタリア 連絡先： http://www.lacie.com/it/contact/	LaCie 日本 連絡先： http://www.lacie.com/jp/contact
LaCie オランダ 連絡先： http://www.lacie.com/nl/contact/	LaCie ノルウェー 連絡先： http://www.lacie.com/no/contact/
LaCie スペイン 連絡先： http://www.lacie.com/es/contact/	LaCie スウェーデン 連絡先： http://www.lacie.com/se/contact
LaCie スイス 連絡先： http://www.lacie.com/cafr/contact/ (フランス語)	LaCie 英国 連絡先： http://www.lacie.com/uk/contact/
LaCie アイルランド 連絡先： http://www.lacie.com/ie/contact/	LaCie アメリカ合衆国 連絡先： http://www.lacie.com/contact/
LaCie インターナショナル 連絡先： http://www.lacie.com/intl/contact/	

7. 保証について

当社は、保証書に指定されている期間内において、正常なご使用のもとで生じたすべての製造上の欠陥に対して、本製品を保証いたします。保証期間内に本製品に欠陥が見つかった場合、当社の裁量で、欠陥品を修理または交換するものとします。

■ 次の場合は、保証が無効になります。

- ❖ 本製品を、標準外の使用環境で使用、または標準外の保守環境で保管された場合
- ❖ 修理、改造、変更について当社の書面による明白な承認がないにもかかわらず、本製品を修理、改造、変更した場合
- ❖ 本製品を誤用・放置したり、落雷、電気関連の障害、荷造り不良、事故があった場合
- ❖ 本製品が不適切に設置された場合
- ❖ 本製品のシリアル番号を汚損または紛失した場合
- ❖ 破損部品が、ピックアップ トレイなど交換用パーツである場合
- ❖ 本製品の包装箱の不正開封防止シールが破れている場合

当社およびその納入業者は、本製品の使用中に起こったデータ損失、あるいは結果的に生じたいかなる問題についても責任を負いません。念のため、CD-R/RW、DVD-R/RW および DVD+R/RW メディアに書き込みを行った後、それらのメディアをテストすることを推奨します。いかなる場合も、当社またはそ

のサプライヤは、本製品で使用した DVD または CD の信頼性を保証しません。

当社は、いかなる場合においても、プロパティ (動産、不動産) や設備装置の損傷または損失、利益または収入の損失、交換品にかかるコスト、サービスを使用できないことが原因で生じた支出または不都合などを含むがこれらに制限されない、直接的、実害または間接的などの損害については一切責任を負いません。

本製品の使用中に生じたデータの損失、ダメージ、破壊は、お客様ご自身の責任であり、いかなる場合であっても LaCie はそのデータの回復または修復について責任を負いません。いかなる場合でも、ドライブに支払われた購入価格を上回る金額を請求することはできません。

保証サービスを受ける場合は、LaCie テクニカルサポートにご連絡ください。本製品が保証期間内であることを確認するために購入証明書をご提示いただくことがあります。

当社に製品を返品される場合は、購入時にその製品が入っていた箱にしっかりと梱包し、送料前払いでお送りください。

重要な情報: 無償のテクニカル サポートをご利用になるには、次の Web サイトでオンライン登録を行ってください。www.lacie.com/jp/support/register